



arcserve®

20年以上の実績を持つ、多様なビジネスシーンで活用できるバックアップのデファクト・スタンダード

Arcserve® Backup

バックアップの信頼性と高パフォーマンスを追求される方へ



バックアップを
短時間で終わらせたい



アプリケーション特有のデータも
止めずに保護したい



混在するWindows、Linuxも
まとめてバックアップしたい



データ保護に求められる 高信頼性とパフォーマンスを。

Arcserve Backup は、ビジネスシーンで生み出される多様なデータを、確実かつ最新な形で保護できるバックアップ・リカバリソリューションであり、ベース製品にオプションとエージェントを組み合わせて、あらゆる規模のお客様環境に対応します。

ベース製品	オプション製品	エージェント製品
バックアップ・リカバリを行う 本体製品です。	特定用途向けに 機能を強化する製品です。	特定アプリケーションや 仮想環境に最適化する製品です。

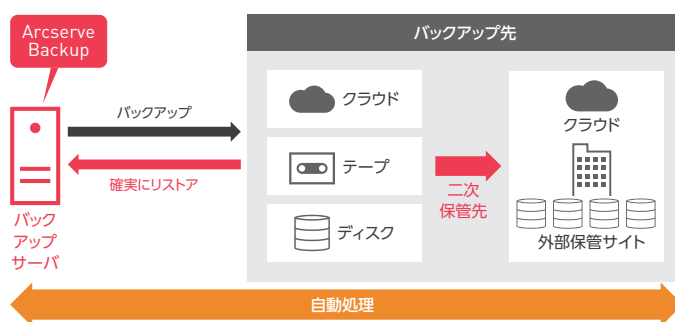
ベース製品

Arcserve Backup for Windows

Arcserve Backup は、使いやすい日本語ユーザインターフェイスを備え、ディスク、テープ、クラウドへのバックアップはもちろん、バックアップデータのサイズを大幅に削減する重複排除機能や、法令遵守に活用できる監査証跡の保管機能など、多様なバックアップ/ リストア機能を標準搭載したソフトウェアです。

多様なバックアップ方法と確実なリカバリを実現

Arcserve Backupはバックアップ先を選びません。安価で汎用性の高い「ディスク」、可搬性と長期保管に優れる「テープ」、災害対策先として安価な「クラウド」を選択できます。二次保管先には、外部保管サイトのほか、初期コストを抑えることができる「クラウド」に対応しています。企業によって異なるバックアップ要件に併せて、あらゆるシーンのデータ保護にご活用いただけます。また、データの復旧時も、最適なリストアソースを自動選択する「スマートリストア」などによって、簡単かつ確実に復旧できます。

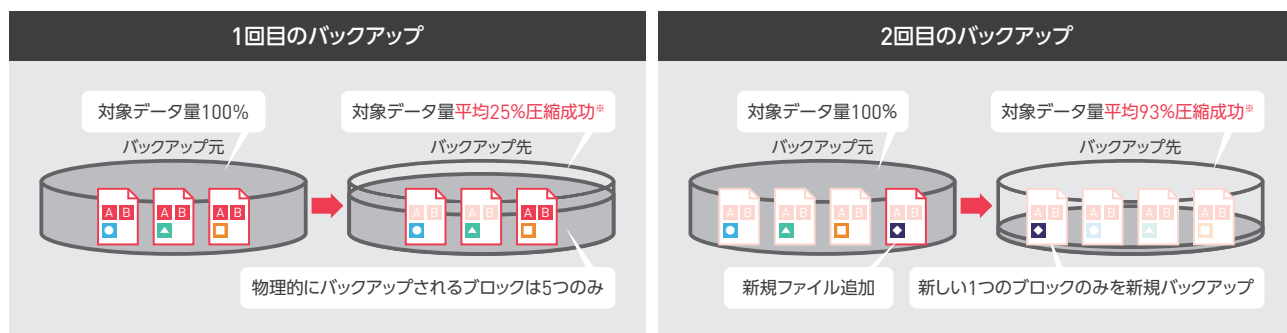


テープ、ディスク、クラウド、アーカイブなど多彩な保管方法に対応

基本的なバックアップのD2D (Disk to Disk) やD2T (Disk to Tape)、D2D2T (Disk to Disk to Tape:ステージング)やD2D2C (Disk to Disk to Cloud:ステージング)はもちろん、D2C (Disk to Cloud)といった高度なバックアップ機能を備えています。ディスクの持つパフォーマンスとテープの持つ耐久性、クラウドの利便性を使い分けることができ、より堅牢なバックアップ体制を実現します。長期保管が必要なデータも、アーカイブ機能で安価な記録装置や書き換え不可の媒体にデータを移して保管できます。これらの機能によって、ストレージ効率を高め、コスト削減を実現します。

ディスクを無駄なく活用できる「データ重複排除」機能を搭載

増え続けるデータを効率的にバックアップするのが「データ重複排除 (データデデュPLICATION)」機能です。データの重複をファイル単位ではなく、小さなブロック単位で排除することで、無駄なく効率的なバックアップ/リカバリが可能になります。バックアップデータの容量を大きく削減できるため、必要なストレージ容量も大幅に抑えることができます。「データ重複排除」機能は標準で利用でき、全エージェント製品との併用をサポートしています。

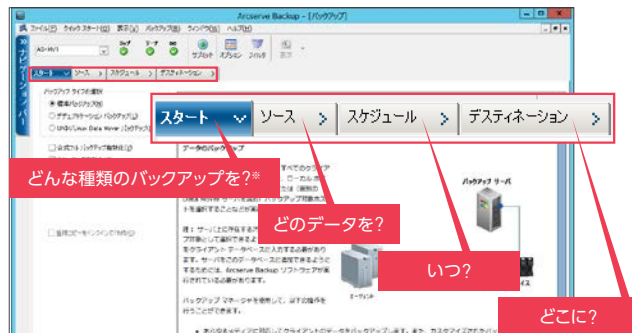


※Arcserve調べ

操作の簡単さとわかりやすさを追求、保管データは安全に保護

▶ ウィザード形式で簡単設定

インストールはもちろん、バックアップやリストアの設定も、ウィザード形式（対話形式）で設定可能です。さらに、付属の日本語チュートリアル機能でバックアップ/リストアをすぐに操作できます。



※ [スタート] でステージングを選択すると、ステージングの場所とマイグレーションポリシータブが追加されます

▶ 使いやすい管理画面

完全な日本語化はもちろん、徹底して簡単さにこだわった、直感的で利用しやすい管理画面を備えています。各種情報の一元管理により、管理者の運用負荷を大きく軽減できます。

▶ 暗号化対策

バックアップサーバ、エージェントの双方で暗号化が可能。テープ装置機能のハードウェア暗号化にも本体製品で対応しています。アルゴリズムにはFIPS (米国連邦標準規格) 認定の高い安全性を誇る「AES」を採用しています。

▶ アクセスコントロール/監査ログ

バックアップ/リストアの管理機能を細かく分け、各担当者の業務に応じて、必要な権限を柔軟に割り振ることが可能です。データの漏えいや悪用、改ざんといった不正利用を防ぎ、企業内の内部統制を支援します。また監査証跡の一環として、各担当者が行った操作内容を監査ログに記録できます。

視覚化されたわかりやすい画面で管理

▶ SRMレポート付きダッシュボードの搭載

バックアップ/リカバリの状況を“ひとめ”で確認できる「Storage Resource Management (SRM) レポート付きダッシュボード」機能が備わっています。バックアップジョブごとのステータスや、デバイスの利用状況などを一元的に確認できます。グラフィカルなチャートで、問題の早期発見と効率的な管理を実現します。

▶ 環境全体を視覚的に把握

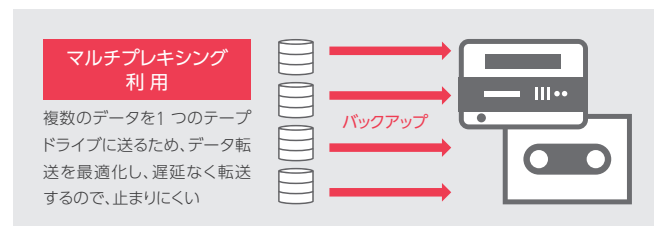
バックアップ環境が広がるにつれ、全体の把握が困難になります。その点、Arcserve Backupには、Arcserve Backupを導入したサーバやストレージ、デバイスを階層形式で視覚化できる「Infrastructure Visualization」機能が備わっています。全体像の把握とともに、ドリルダウンして各サーバごとの詳細情報にアクセスすることも可能です。



日々の運用負荷を軽減する高速バックアップ

▶ マルチプレキシング機能

複数ソースにあるデータを1台のテープドライブに同時にバックアップし、テープドライブの性能を最大限に引き出す「マルチプレキシング」機能を備えています。特に、テープドライブが高速な場合に高いパフォーマンスを発揮します。



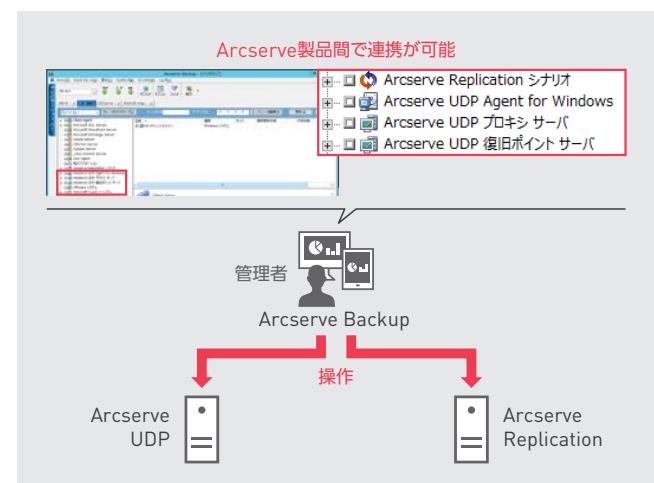
Arcserveシリーズ製品と連携してさらに堅牢な体制を構築可能

Arcserve Backup の管理画面から、Arcserve® Replication によってレプリケーションされたデータをバックアップできます。同様に Arcserve® Unified Data Protection (UDP) でイメージバックアップされたデータを、Arcserve Backupでテープにバックアップできます。これにより、バックアップ管理者の負荷を大きく軽減できるとともに、非常に高度で堅牢なバックアップ体制を簡単に構築できます。

Arcserve Backupから直接行える操作

Arcserve Replicationの複製データをバックアップ/リカバリ

Arcserve UDPのバックアップデータをテープ装置などにバックアップ

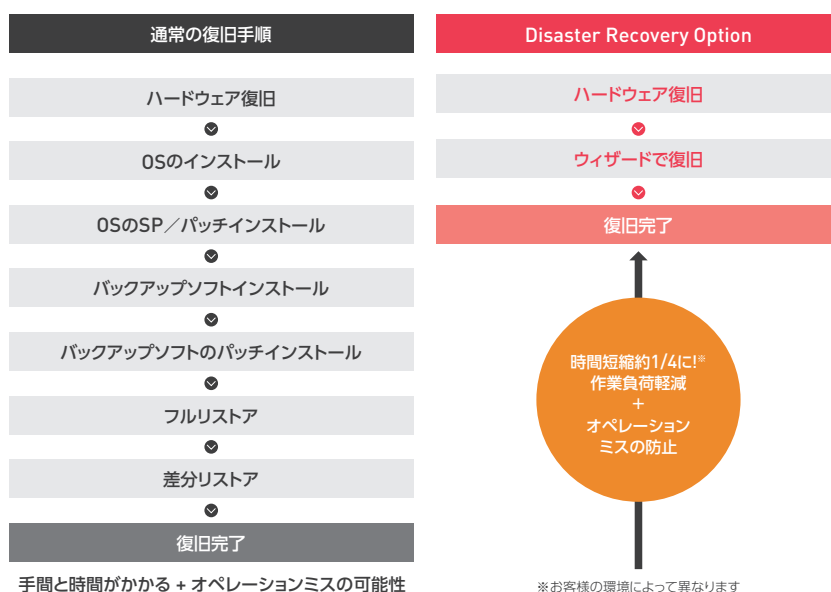




Disaster Recovery Option

「手間なく」「即座に」戻せる

OS やアプリケーションを再インストールすることなく、システムを迅速、かつ計画的に復旧できます。復旧処理中にネットワーク上のノードから対象マシンの固有データ（パーティション情報など）を取得できるため、最小限の用意でサーバを復旧できます。



Enterprise Module

業務の停止を最小限に抑えて、大容量データを確実にバックアップ

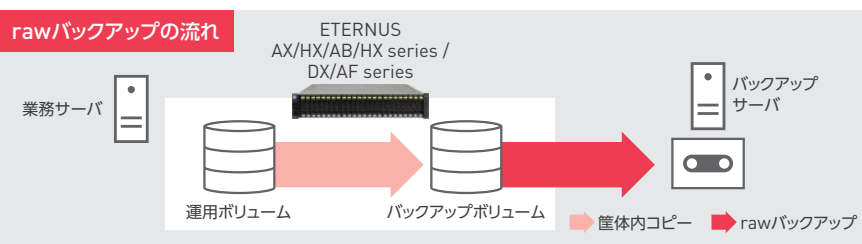
Enterprise Moduleは、標準機能をさらに強化し、大規模環境などに求められる高度なバックアップ機能を提供します。

「rawバックアップ」機能は、ETERNUS AX/HX/AB/HX series / DX/AF seriesによる筐体内の高速コピー機能によってコピーされたデータをさらに二次バックアップし、大容量データでも業務への影響を最小限に抑え、データ保護の確実性を高めます。LinuxやOracle RACのような様々なボリュームがバックアップ可能です。

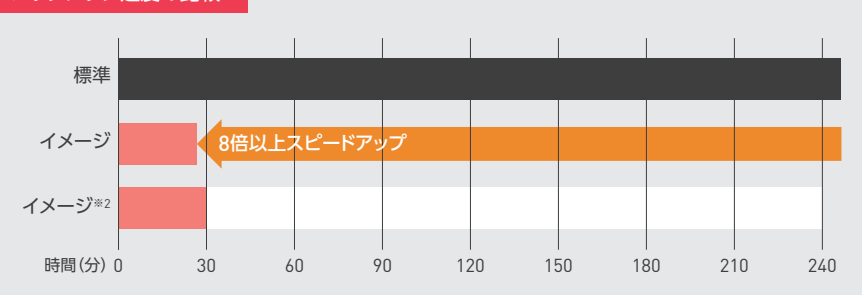
また「イメージオプション」機能を使用すると、ドライブのスナップショット イメージを作成し、ディスクからデータブロックを読み取りバックアップを行います。ドライブ全体を1つの大きなファイルとみなすため、ファイルごとのオーバーヘッド（ファイルのオープン/リード/クローズ）を省くこととなり、処理時間を大幅に短縮できます。

- ▶ マルチストリーミング機能のサポート
- ▶ ステージングストリーム数の拡張
- ▶ rawバックアップ
- ▶ メディア管理機能(MMO)
- ▶ NDMP NASの動的デバイス共有※

rawバックアップの流れ

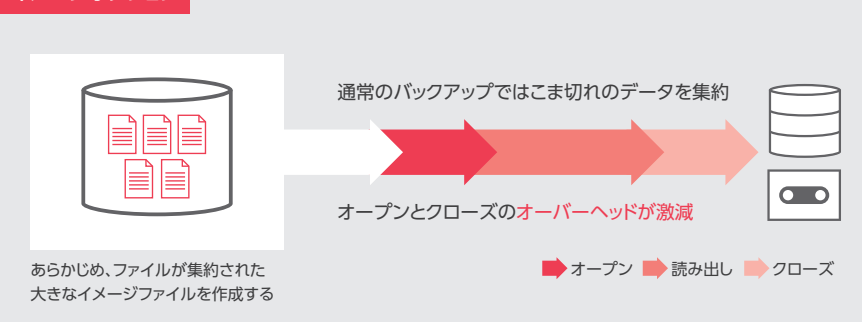


バックアップ速度の比較※1



※1 1,200万ファイル時 ※2 イメージ バックアップ(ファイル レベル リストア有効) ※Arcserve調べ

イメージオプション

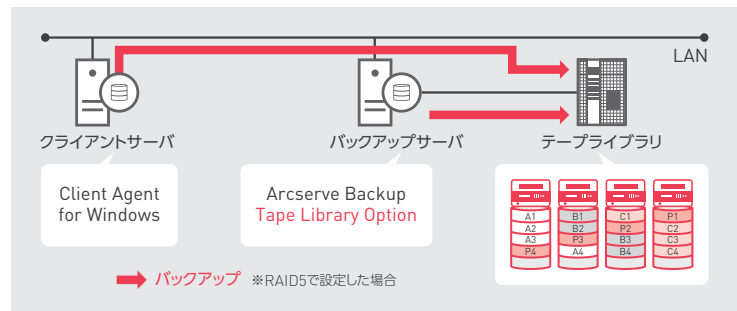


※NDMP NAS Option, SAN Option, Central Management Option, Enterprise Module が必要です。



Tape Library Option

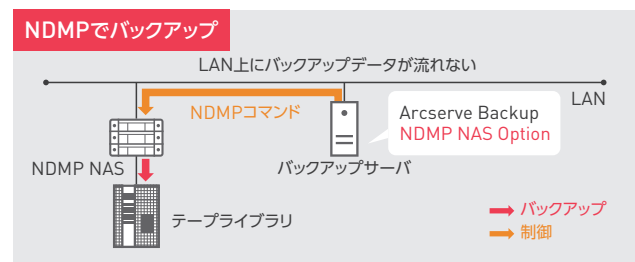
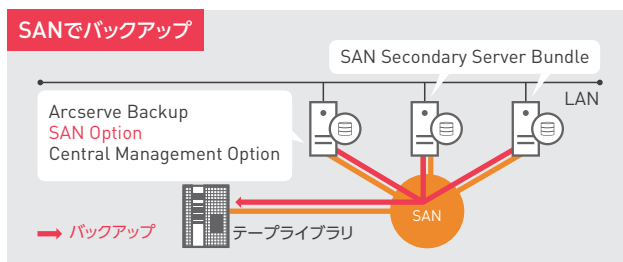
Tape Library Optionは、2つ以上のテープライブラリ装置「ETERNUS LT series」をサポートします（ドライブが1つのライブラリ装置の場合には、本体標準機能でサポートします）。また、Tape Library OptionにはRAID機能も搭載されています。この機能を利用することで、バックアップテープの正副を作成するミラーリングを可能とし、さらに複数デバイスを同時に利用して性能と容量を向上させる「ストライピング」で、飛躍的にバックアップ速度を向上させることが可能です。



SAN Option^{*} / SAN Secondary Server Bundle / NDMP NAS Option

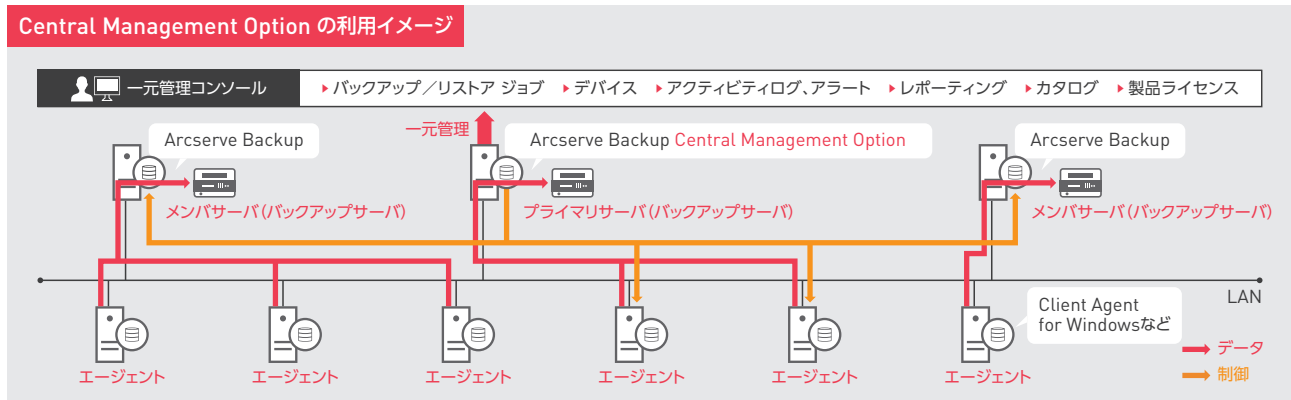
^{*}SAN Optionの利用にはCentral Management Optionが必要になります

SAN Optionは、SAN環境上のテープ装置を複数のバックアップサーバで共有できます。それぞれのバックアップサーバから直接、テープ装置にバックアップデータを送り出せるため、LANに負荷を与えない、LANフリーバックアップを実現できます。SAN Secondary Server Bundleは、2台目以降のバックアップサーバに導入する製品で、ベース製品とSAN Optionをバンドルしています。NDMP NAS Optionは、NDMPコマンドを使用して、NAS「ETERNUS AX/HX/NR1000 series」のスナップショットをバックアップします。バックアップ先はNAS接続のテープ装置や、バックアップサーバに接続されたテープ装置／ディスク装置などを選択できます。NASに繋がっているテープ装置を利用すると、データが直接テープ装置に送り出されるため、ネットワークに負荷がかかりません。



Central Management Option

Central Management Optionは、拠点内に点在するバックアップサーバや、バックアップ対象サーバを一元的に管理します。この製品は、バックアップ対象サーバを「エージェント」、バックアップを行うサーバを「メンバサーバ」、すべてを管理する「プライマリサーバ」という3レイヤに分けます。プライマリサーバにすべての情報が集まるため、管理者はどのバックアップサーバかを意識することなく、バックアップやリストアの操作や、ステータスの確認、レポート出力などを行えます。



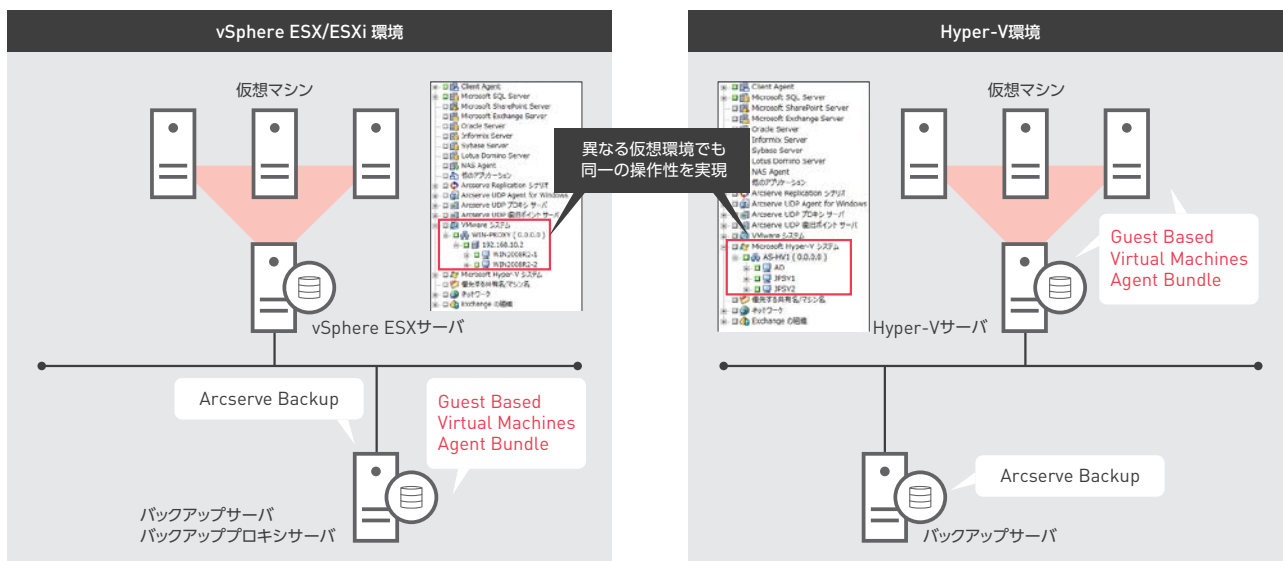


Guest Based Virtual Machines Agent Bundle / VM Agent per Host License

仮想環境を効率的に保護する専用エージェントです。仮想環境を手軽に、高速に、かつ確実にバックアップできます。ファイルモードとraw モード、そして混在モードでの柔軟なバックアップ/ リストアに対応しています。また、仮想マシンにエージェント導入が必要な場合、ソフトウェア展開用のデプロイメントツールを利用することで、エージェント配布を簡単に行えます。

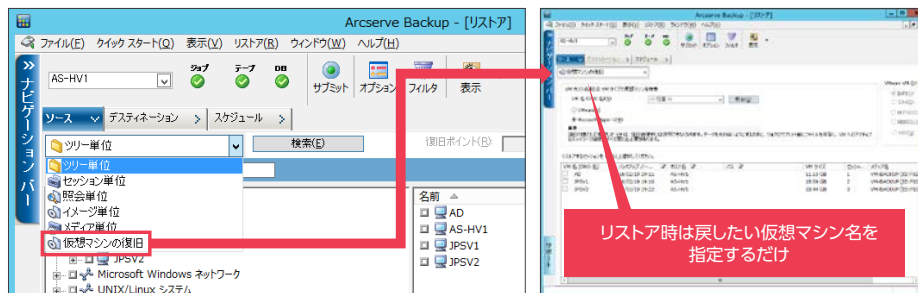
物理環境でも仮想環境でも同じ操作性

物理サーバでも仮想サーバでもまったく同じ操作性で一元管理できます。物理環境での運用に慣れていれば、仮想環境での運用で特別なスキル習得を必要としません。増え続ける仮想環境に対して、管理者の負荷を大きく軽減します。また、vSphere ESX、Hyper-Vの異なる仮想ソフトでも同じ操作性を実現しています。



仮想環境もたった数クリックで簡単リストア

仮想マシンの丸ごとリカバリは、物理環境のOS復旧よりも簡単なステップで復旧できます。またファイル単位のリストアでは物理環境と同じく、元の場所だけで



Client Agent for Windows / Linux

様々なプラットフォームのリモートバックアップに対応

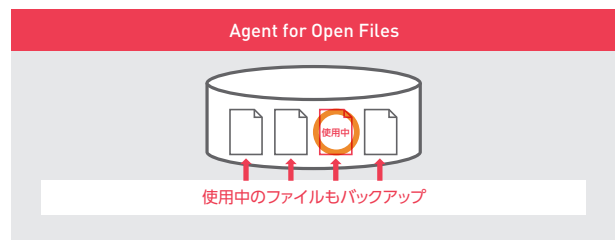
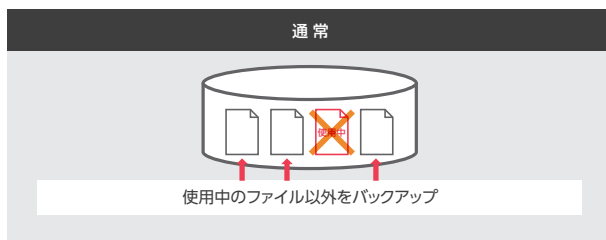
Windows/Linux など各プラットフォームのファイルシステムをネットワーク経由でバックアップ/ リストアするための製品です。バックアップ作業をArcserve Backup のサーバ側とクライアント側のコンピュータで分担します。通信の負荷を軽減しつつ、高いパフォーマンスを発揮できます。さらに暗号化機能を搭載し、セキュアなバックアップ/ リストア環境を構築できます。

- ▶ ネットワーク上にある異種システム (Windows/Linux) 混在環境のファイルをバックアップ
- ▶ データ圧縮機能により通信負荷を軽減
- ▶ ファイルのセキュリティと属性を維持
- ▶ セキュリティを確保するFIPS認定AES256ビット暗号化

Agent for Open Files

使用中のファイルもバックアップ対象にできるオープンファイル機能

使用中のファイルがバックアップの対象となった場合、バックアップ処理では該当のファイルがスキップされ、未完了になります。24 時間365日稼働する環境では、夜間でもファイルへのアクセスがあり、完全なバックアップを行えないケースがあります。Agent for OpenFiles では、OS やアプリケーションのシステムファイル、ドキュメントやスプレッドシートなどのビジネスデータ、画像データなどの各種ファイルが使用中でも、安全かつ確実にバックアップできます。



Agent for Oracle

RMAN方式かファイルレベル方式 (OS コマンド方式) を選択でき、お好きな方法で稼働中のOracle データベースをバックアップできます。
(Windows版のみ提供)

Agent for Microsoft SQL

SQLデータベースのオンラインバックアップ時に整合性チェックができ、確実なバックアップデータを作成できます。

Agent for Microsoft Exchange

稼働中にデータベースレベルやメールフォルダ単位 (ドキュメントレベル) でバックアップもできます。ビジネスで大事なメールも個別メール単位で復旧でき、柔軟なバックアップ運用を実現できます。

Agent for Microsoft SharePoint

Microsoft SharePoint Server によって構築された企業ポータルや検索インデックス、シングルサインオンデータベースなど、SharePointで利用されるデータベースを保護することができます。

SupportDesk だからこそできる安心のサポート

ソフトウェア／ハードウェアを専門技術者が一括サポート

OSやハードウェアが関連する問題もトータルで対応

お客様環境では様々なハードウェア／ソフトウェアが動作しており、トラブルが発生した場合の問題の特定が困難です。エフサステクノロジーのSupportDesk では、ハードウェア／ソフトウェア間の問題もエフサステクノロジー内で迅速に調査し、さらにArcserve 社とも協力の上、問題の早期解決を支援いたします。

Arcserve社サポートから プラス1年の継続サポート

エフサステクノロジーのSupportDeskなら、Arcserve社のサポート期間が終了しても1年間は継続してサポートを受けることができます。
- Arcserve社のサポート終了後でも、エフサステクノロジーの豊富な事例でご対応
- エフサステクノロジーがArcserve社より入手済みの修正プログラムを提供

トラブル事例

事象 不定期にテープ装置へのバックアップに失敗 **原因** テープ装置のファームウェアの不具合

SupportDesk の対応

ソフト技術者がArcserve側のログを解析。
テープ装置からのリターンコードが原因と推測。

↓
推測結果を基にソフト・ハード技術者間で
直接調査状況を共有し、連携して調査。

原因判明までに 約2日

一般のサポート (ソフト・ハードのサポートが別)

ログ解析は行いうが、テープ装置が要因と推測できた時点で
ソフト会社の調査はそこで終了。

↓
お客様または担当SEがハード会社へ問い合わせ。
↓
お客様/ 担当SEを介すると調査内容がハード会社や
ソフト会社へ十分に伝わらず、何度もやりとりが発生。

原因判明までに 約14日

5年間のSupportDeskとアップグレード権が同梱された製品もございます

ラインアップ

長期保存で安心のバックアップ/リカバリ Arcserve Backup	
ベース製品	Arcserve Backup 19 for Windows
	Arcserve Backup 19 for Windows Base with Disaster Recovery Option
オプション製品	Disaster Recovery Option
	Tape Library Option
	NDMP NAS Option
	SAN Option
	SAN Secondary Server Bundle
	Enterprise Module
	Central Management Option
エージェント製品	Agent for Microsoft Exchange
	Agent for Oracle
	Agent for Microsoft SQL
	Agent for Microsoft SharePoint
	Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
	VM Agent per Host License※1
	Agent for Open Files
	Client Agent for Windows
	Client Agent for Linux

※商品価格については、弊社営業または販売パートナーまでお問い合わせください。 ※商品には、1年間のアップグレード権利がついた商品や5年間のアップグレード権と5年間のエフサステクノロジーズのSupportDesk サービスがセットになった商品があります。アップグレード権の有効期間中に、新バージョンがリリースされた場合、最新のソフトウェアをご入手いただくことができます。 ※商品ご購入後の使用方法や技術的なお問い合わせは、エフサステクノロジーズのSupportDesk サービスをご活用ください。エフサステクノロジーズのSupportDesk では、平日8:30 ～ 19:00 / 24時間365日のサービスをご用意しています。価格については弊社営業または販売パートナーへお問い合わせください。

※1 仮想ホスト単位のライセンスで、仮想ホスト上の仮想マシンの数に制限はありません。

主なバックアップ対象

OS	アプリケーション	仮想環境／クラウド
Windows Server 2022 / 2019 / 2016 / 2012R / 2012 Windows Storage Server 2016 / 2012 R2 / 2012 Linux (Red Hat 他)	Microsoft Exchange Microsoft SQL Server Microsoft SharePoint Oracle Database	VMware Microsoft Hyper-V Amazon EC2 Microsoft Azure

※ エフサステクノロジーズでの動作要件の詳細、最新情報はエフサステクノロジーズ公開サイトをご覧ください。

製品情報

エフサステクノロジーズ公開サイト	https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/index.html
Arcserve Japan公開サイト	https://www.arcserve.com/jp/products/arcserve-backup

SupportDesk

エフサステクノロジーズ公開サイト	https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/
------------------	---

30日間無償トライアル

Arcserve Japan公開サイト	https://www.arcserve.com/jp/free-backup-software-trial/
---------------------	---

- すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。
- 製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- このカタログに掲載されている内容については、改善などのため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

Copyright © 2025 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

製品についてのお問い合わせは

エフサステクノロジーズ株式会社

〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1番地5 JR川崎タワー
お問い合わせ <https://www.fujitsu.com/jp/fsas/contact/>